

1. テーマ設定について…

今回の研究テーマ「ふるさとCM作成」については、昨年度までの自由設題とは異なり、研究分野を商業・農業・鉱工業・文化の四分割に区分けし、それぞれの枠組みの中で研究を深め繋がりのある学習成果にしようということで学習が始まりました。

そんな中で今年度学校全体としてのテーマでもある『表現』と言う部分も考慮しつつ、商業分野の中でその役割を果たすことの出来るものは無いのかと考え、発信する役割について考えるきっかけを持つということで、CMという方法を活用する方向でスタートしていった。



2. 現在までの取り組み

① グループ編成および学びの確認

- 学習者11名を3年生を中心とする班と2年生を中心とする班に組み分けをする。

プランニングの企画を立て易いように学年単位で班分けをした。

- 今回は『商業』に限定すること無く、表現＝発信という事に重きを置いてその方法をCMという形で挑戦してみることにした。
- 広域的に有名な取り組みとして、『あきた手づくりCM大賞』というAAB放送の番組企画に参加させて頂くことで、少しでも本格的な手続きであったり、作成の難しさであったりについても体感して貰おうという狙いもあった。

以上のことをふまえ学習を進めていくことにした。

② 座学学習では

- ①『企画書』なるものについて実際にプランニングをしてみた。

何をどう表現したいのかについてそれぞれが考えを出して一つの方向性を見いだす作業（話し合い）を行った。

・・・その結果として「地味だが知られていないかづの」について表現しようになる。

- ②形にする第一段として『絵コンテ』を書きながら流れをイメージしてみる。
- ③CM作品提出の規程や注意事項について確認する。（提出期日・作成禁止事項・日程の推移等）

※前半部分になかなか連続する日程が上手く取れないことから、全体的な打合せが上手く運べていなく、作品提出期限まで間に合うのかが心配になってきた。



3. 今後の取り組み

○今まで計画してきたものを、実際の現場に行き確認しながらサンプル映像を撮ってみる。

AABのメイキング撮影のための連絡や編集等について確認、計画を立てなくてはならない。

